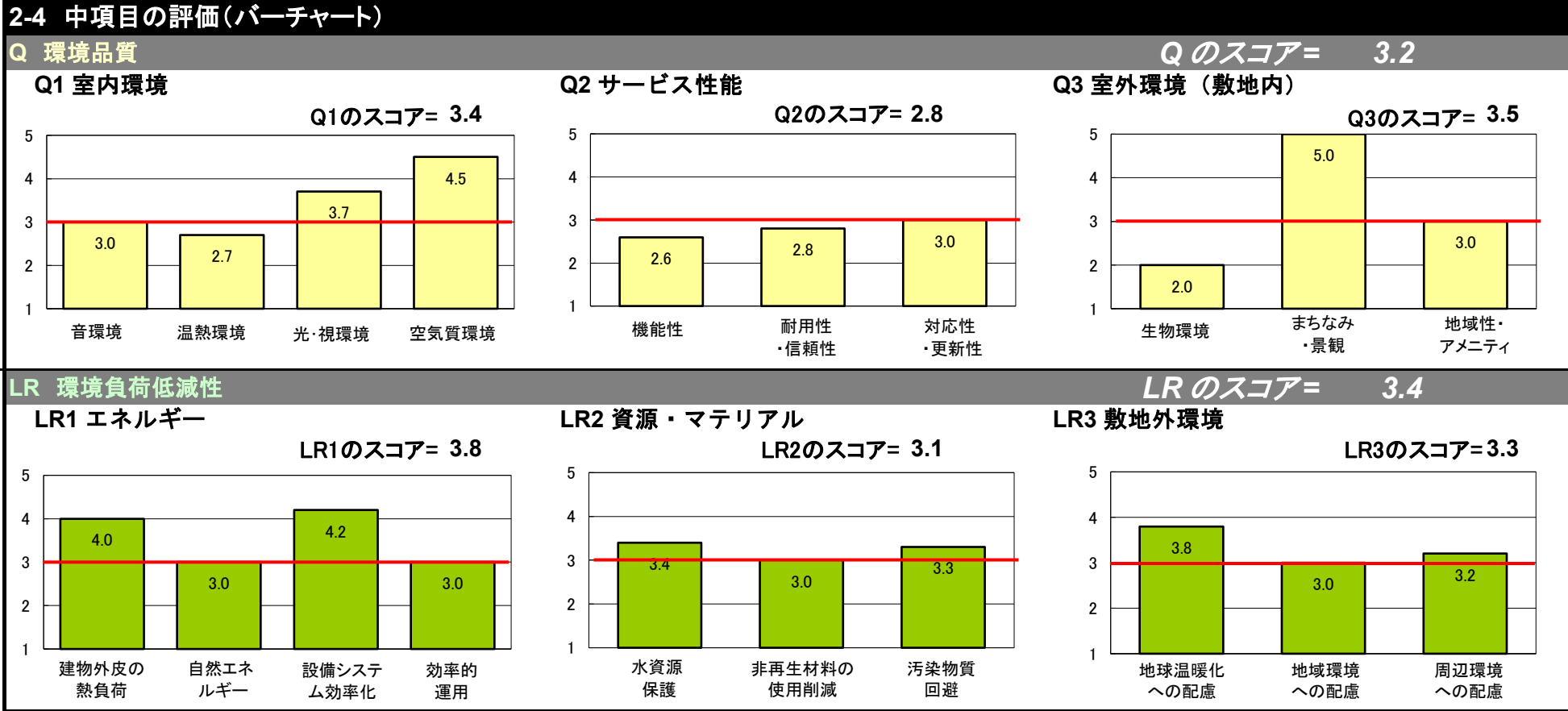
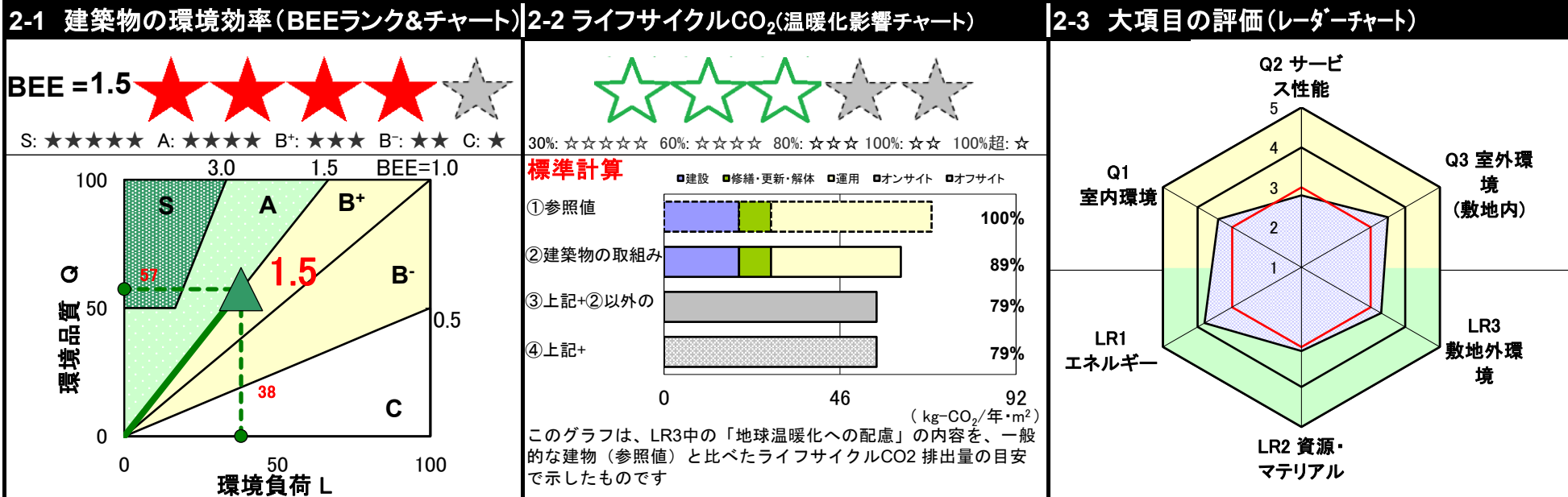


CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	県営藤沢大庭団地公営住宅新築工事(1期)	階数	地上7F	
建設地	神奈川県藤沢市大庭字有藤5043番3外	構造	RC造	
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	115 人	
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2028年8月 予定	評価の実施日	2025年7月31日	
敷地面積	4,488 m ²	作成者	株式会社タック都市開発研究所	
建築面積	606 m ²	確認日	2026年4月9日	
延床面積	3,130 m ²	確認者	株式会社タック都市開発研究所	



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
辻堂駅から自転車で約12分の第一種住居地域に共同住宅を計画した。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級5相当である。 使用する仕上材、下地材はすべてF☆☆☆☆とし、石綿及び知床杉の使用はないものとする。	階高:2.9m以上、3.0m未満。	植栽により良好な景観を形成している
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級5相当である。 BEI=0.73、LED照明設備を導入。	「躯体+軽鉄+仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	ライフサイクルCO ₂ 排出率79%。 光害対策ガイドラインの扱いの全ての配慮事項を満たしている。また、広告物照明は行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される